

鏡川流域パートナーシップだより No.175 R6.8.28



新エネルギー・環境政策課では、高知市の清潔なまちのシンボルである鏡川の美しい景観や自然環境を保全するため、鏡川流域の自然と人、人と人との関わりとつながり(鏡川流域パートナーシップ)の拡大を目指しています。「鏡川流域パートナーシップだより」では、鏡川流域パートナーシップ推進に向けたさまざまな取組を楽しく紹介します！

「Feel度 Walk×Biome in 鏡川ど上流」開催～鏡川上流域のスケッチ編～

8月19日(月)、鏡川流域関係人口講座3期生の藤澤佑介さん(土佐塾中学・高校英語教諭)が、鏡川上流域・鏡吉原にて、「Feel度 Walk×Biome in 鏡川ど上流」を開催しました！



Feel度 Walk: 地域を歩いて気になったものを撮影し、参加者同士でスケッチして共有することで、観察力などの感度(Feel度)を高める効果が期待されている活動

☞ 鏡吉原を散策し、スマホアプリ「Biome」のクエスト「鏡川流域いきもの図鑑をつくろう 2024」に挑戦しながら気になったものを写真に収めたあとは、鏡吉原公民館に集合。各自、撮影した写真の中から1番気になったものを選び、画用紙にスケッチしました！

☞ 鏡川で釣れたカワムツをバケツに入れて観察！参加者から「おー！」と声が上がります。

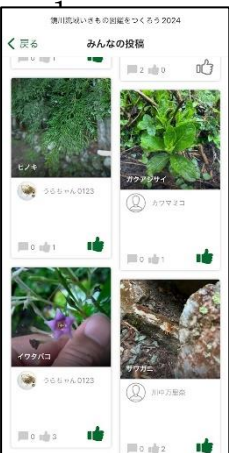
東京都から参加した「カワマミコ」さん(鏡川流域関係人口講座1期生)も、「この魚はあまり見たことないです！」と驚きながら写真を撮り、「Biome」で判定して図鑑に登録しました！



☞ 全員のスケッチを机に並べて、散策中の気づきを発表しました。



☞ 「木の中にサワガニがいてびっくりした」「川の中ではなく土の上を動き回るサワガニが面白かった」など、サワガニに注目した人が多く、参加者同士で「分かる！」と共感しました！鮮やかなアジサイやツユクサなどの植物に目を向けた人も多数。同じ時間に同じ場所を散策しても、それぞれ気になるのが違います。こうした違いを面白がりながら、鏡川流域の自然環境に注目する貴重な機会になりました！



☞ 参加者全員で、新たに45件の動植物を図鑑に登録！

＼ 「ぼっちり」を通じて参加者の皆さんからコメントが届きました！ ／



自分の子どもにも、鏡川で「ちょっと気になる」を見つけてもらって、スケッチをして遊んでみたいと思います。

「鏡川ど上流」の環境に触れ、とても楽しい体験でした。絵で表現することで、自分や他者の「Feel度」を感じることができて、心の充電ができました。

インターンシップ生として参加させていただきました。雨でしたが、それでも美しいと思えるほどの清流でした。スケッチを通してそれぞれの考え方の違いが見えて、とても面白かったです。また晴れの日にも行ってみたいです。

高知市内にこんな素敵なお店があったとは、驚きでした。皆さん、「ありのまま」を受け入れてくれるような方ばかりでとても居心地良かったです。



／ 次回の「Feel度 Walk」の開催を楽しみにしています！ ＼



鏡川流域関係人口のつながりを可視化し、循環を促進するために、スマホアプリ「まちのコイン」を導入しました。高知市のコイン名称は「ぼっちり」です。鏡川がつなぐ山、川、海、人のたくさんの「ちょうどいい」関わりを未来へと繋いでいきたいという意味が込められています。ユーザー、スポット募集中です！

※「ぼっちり」の詳細については、こちらをご覧ください。

<http://cms4.city.kochi.kochi.jp/soshiki/186/machinocoin.html>

「まちのコイン」のインストール



iPhone

Android